

がん検診事業の評価に関する委員会	
------------------	--

平成19年6月26日	資料6
------------	-----

資料6 : 都道府県の立場から (大坪参考人提出資料)

---

# 鹿児島県のがん検診の現状と 課題



鹿児島県保健福祉部

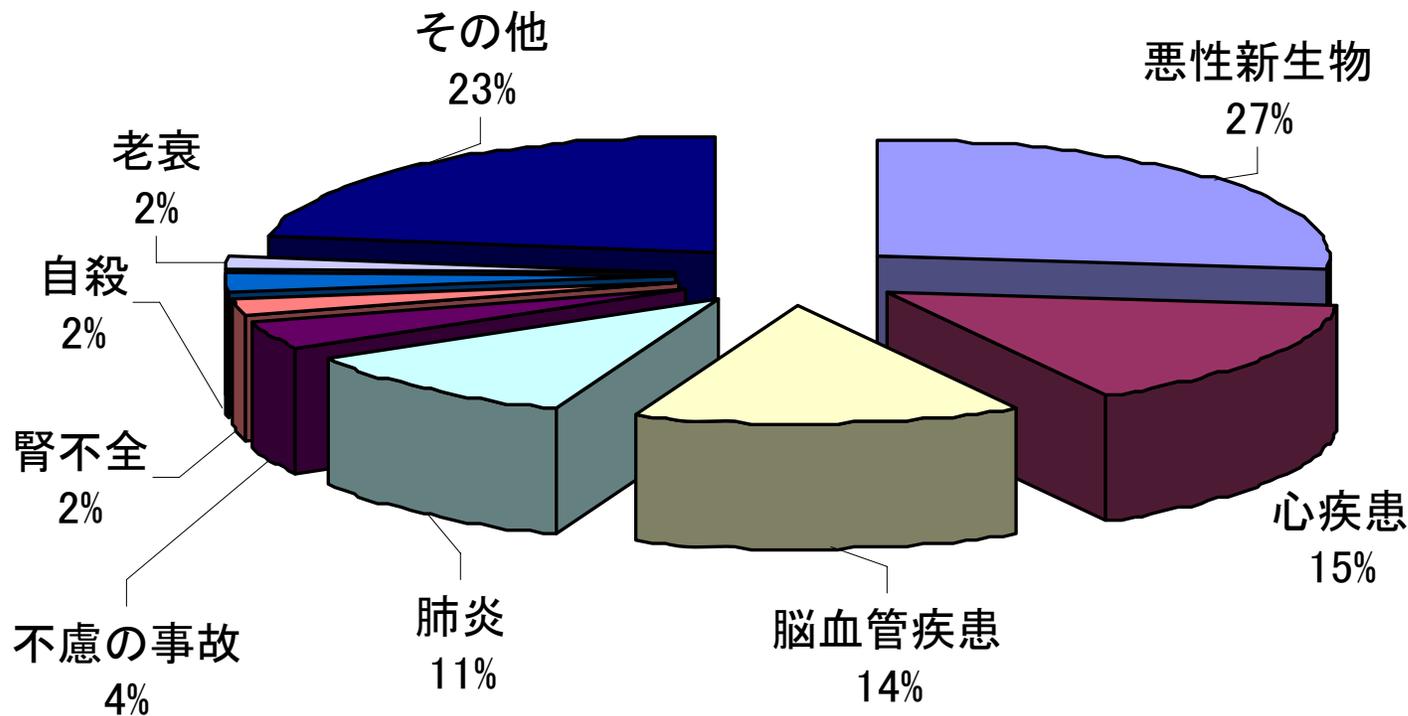
---



# ● 悪性新生物による死亡(H17年)

5,048人(総死亡の27%)

[総死亡に占める割合]

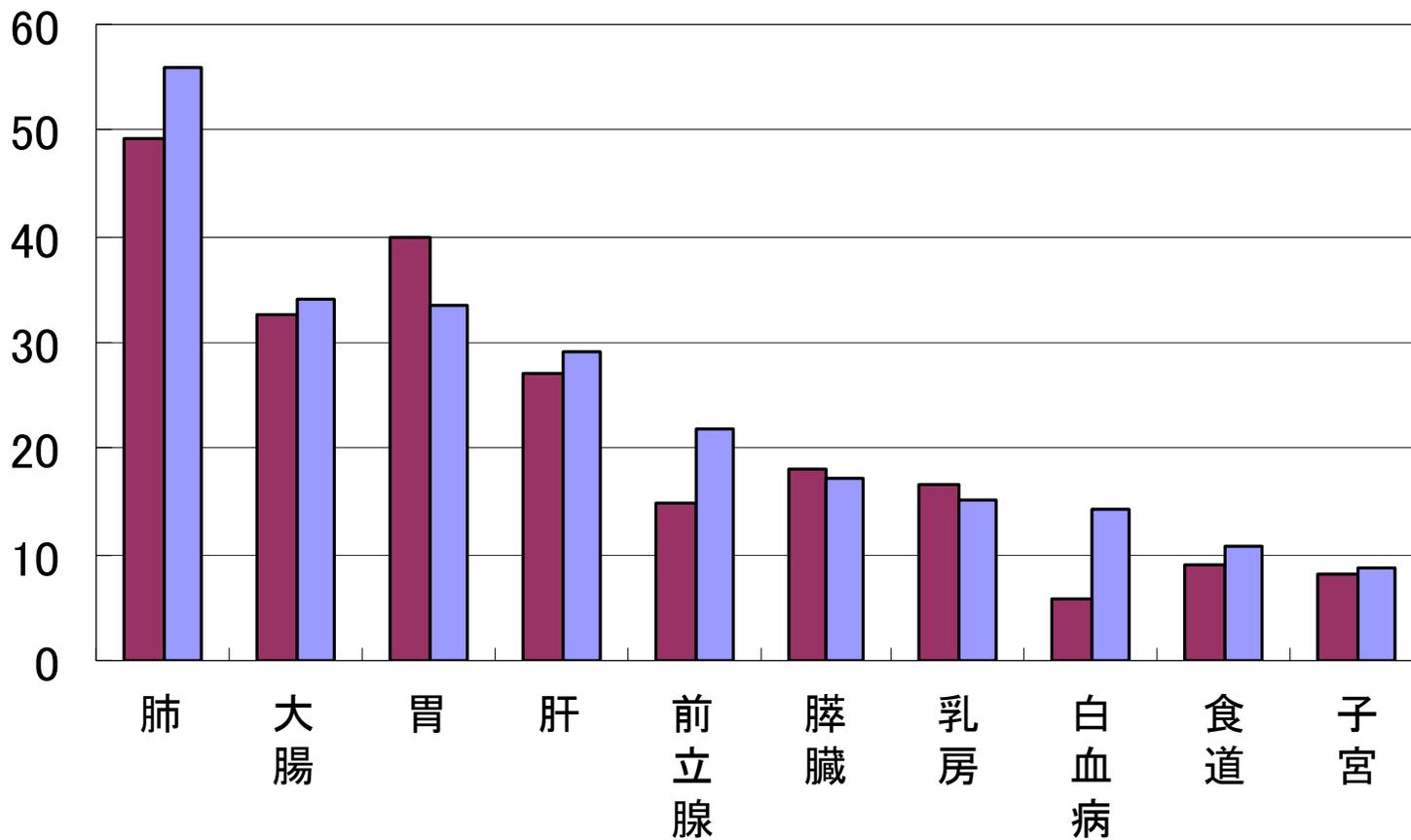




# ● 部位別がん死亡率(H17年)

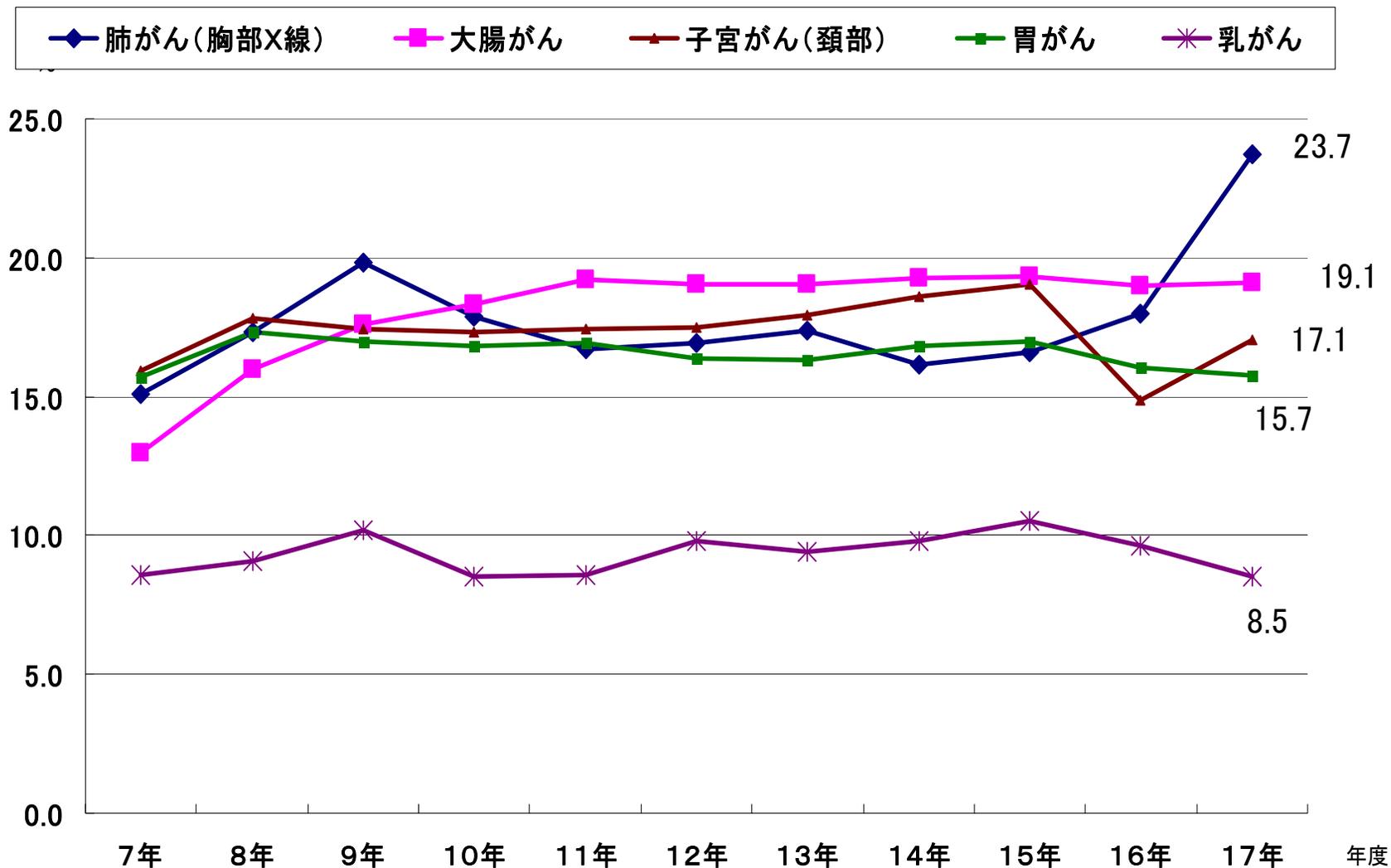
(人口10万対)

■ 全国 ■ 本県





## ●市町村がん検診受診率の推移





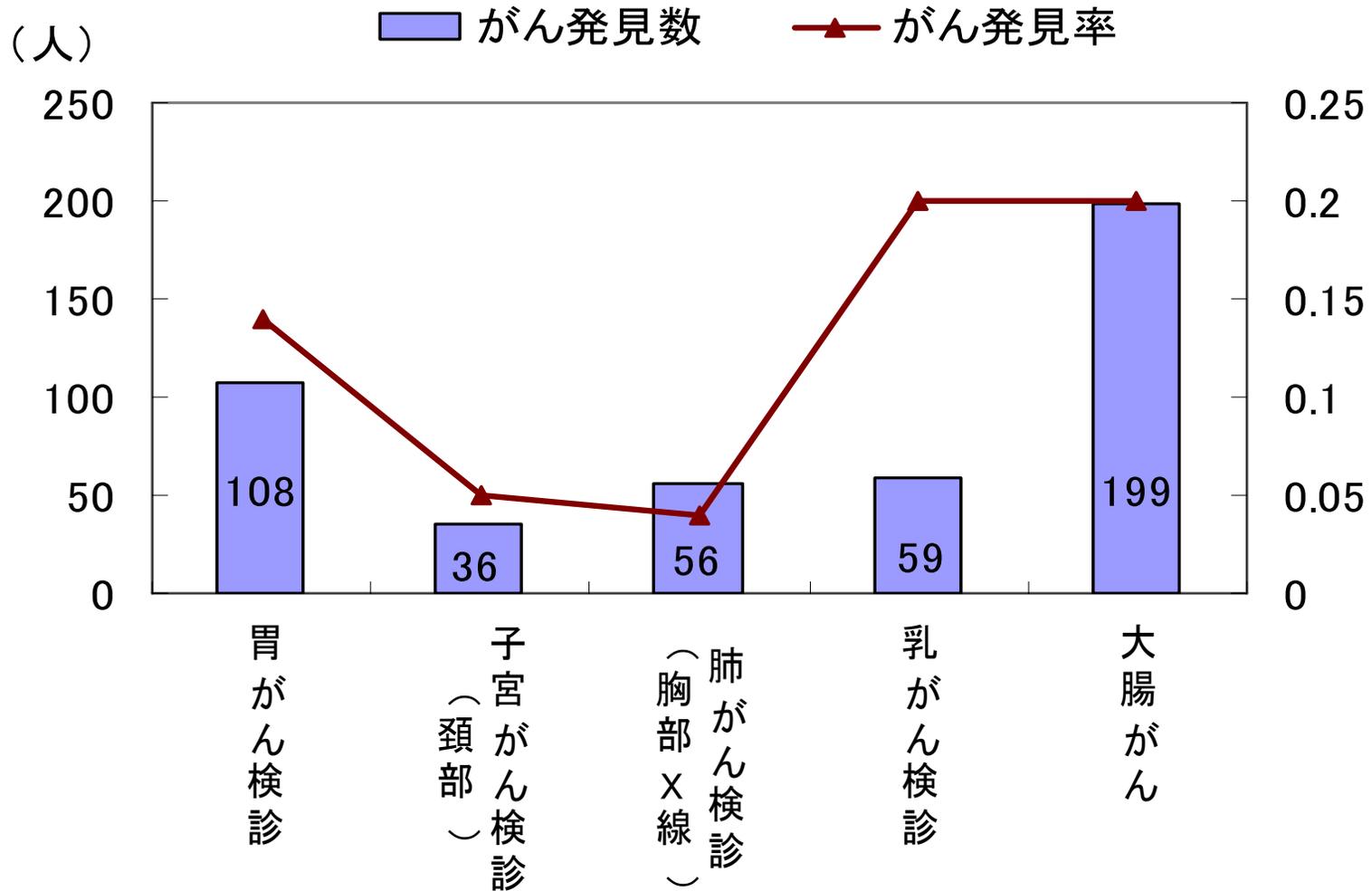
## ● 本県全体のがん検診推計受診率 (H17年度)

	市町村がん 検診受診者	人間ドック・事 業所検診受診 者等	計	推計受診 率
胃がん	78,115 人	105,806 人	183,921 人	18.0%
子宮がん	71,536	15,782	87,318	11.5
肺がん	131,375	138,966	270,341	26.5
大腸がん	101,323	101,211	202,534	19.9
乳がん	29,211	27,680	56,891	10.2

推計受診率に用いた人口は、胃・肺・大腸は40歳以上人口、乳は40歳以上女性人口、子宮は20歳以上女性人口



# ●がん発見数・発見率 (H17年度市町村がん検診)





# ●市町村がん検診の精度管理の状況

## ○がん検診のための点検表

(H18年度調査)

	子宮がん 検診	乳がん 検診	大腸がん 検診
受診者に占める前回未受診者の割合を集計しているか Yes	24.5%	30.6%	24.5%
がん発見率を受診歴別に集計しているか Yes	26.6%	28.6%	26.6%
上皮内がん・早期がん割合を受診歴別に集計しているか Yes	24.5%	26.5%	22.4%
陽性反応的中度を受診歴別に検討しているか Yes	16.3%	22.4%	16.3%



## ●要精密者のフォロー

### 市町村がん検診精密検診受診率（H17年度）

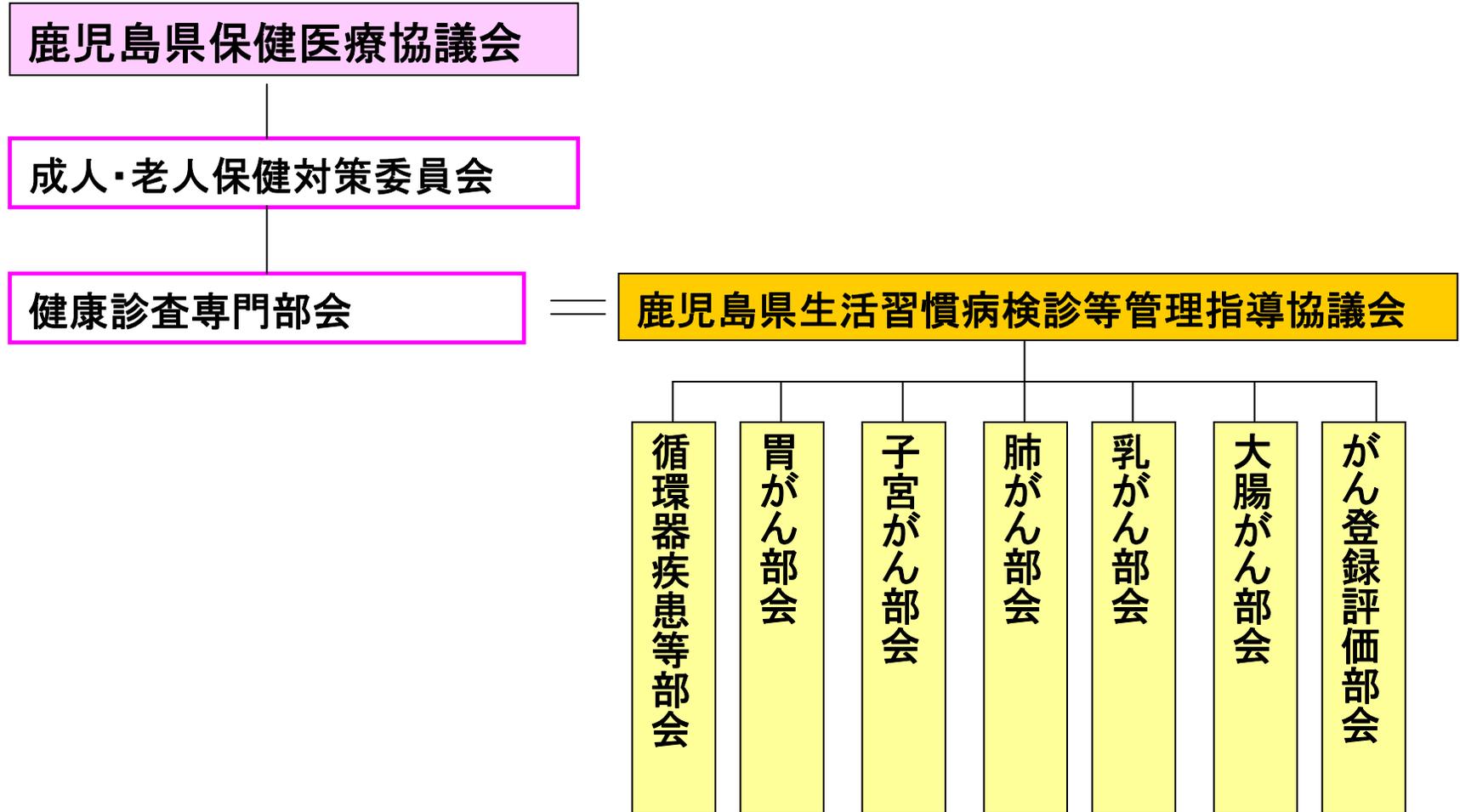
- 胃がん検診 86%
- 肺がん検診 88%
- 子宮がん検診 81%
- 乳がん検診 92%
- 大腸がん検診 76%

市町村保健師等が、要精検者については、訪問または電話で受診勧奨。

また、検診委託機関からの要精密者者追跡結果に基づき、3ヵ月後、6ヵ月後に未受診者・受診不明確者について、訪問または電話にてフォロー。



# ● 精度管理の充実(1) 精度管理協議会体系図





## ●精度管理の充実(2)

### 〔協議会及び部会での協議内容(H18年度)〕

- 各がん検診の実施状況
- がん発見率の向上について
- 精密結果の判定区分について
- 精度評価について
- 精密検査実施協力医療機関の登録について
- 県の検診実施方針について 等

# 課題

## 1 伸びないがん検診受診率

- ・市町村がん検診の予算確保困難
- ・受診率の市町村間格差
- ・対象者把握(母数が確定しない)
- ・検診日程について検診機関との調整が困難

## 2 100%に届かない精検受診率

## 3 精度管理の充実

## 4 地域がん登録の充実

# 改善策～受診率の向上

## ① 県民への啓発

- ・啓発ポスター・チラシ・ホームページ
- ・マスメディアの活用

## ② 市町村への啓発

- ・担当課長・担当者会議
- ・首長や議長への受診率向上の説明会

## ③ 関係機関との連携による啓発

- ・対がん協会、県民総合保健センター、  
NPO（ピンクリボン運動）等
- ・結核・成人病予防婦人会による受診勧奨活動

# 改善策～精度管理

## ① 生活習慣病検診等管理指導協議会

ア 各がん部会 年1回開催

- ・子宮がん検診の毎年実施
- ・H12年度からのマンモグラフィ検診の取り入れ

イ 精密検診実施協力医療機関の指定

各がん部会で条件を満たした機関を指定

- ・平成19年6月現在 780医療機関
- ・検診従事者研修会等への参加の義務付け



## ② 検診従事者のスキルアップによる精度の向上

### ア 検診従事者講習会・検診均てん化研修会

・H18年度 胃・乳がん検診研修会 各2回  
大腸・子宮・肺がん研修会 各1回

### イ マンモグラフィ読影医師・撮影技師養成研修

会 ・H18年度 医師49名受講 撮影技師50名受講

## ③ 事業評価のための点検表(都道府県用)の活用

## ④ 市町村による精度管理

### ア がん検診点検表の活用(乳房・子宮・大腸がん)

### イ 精密検査実施協力医療機関の活用

要精検者に対する精密検査協力医療機関への受診勧奨

# 地域がん登録の充実

## (1) 登録状況

### ①H18年度登録数

医療機関からの届出による登録	1,602件
死亡小票による登録	5,067件
計	6,669件

### ②H18年医療機関からの届出

届出医療機関数	29機関
届出件数	2,466件



## (2) 改善策

### ■ 新規協力医療機関の掘り起こし

訪問や文書による協力依頼

→新たに99医療機関が承諾

H19年度は、15,000件の届出見込み

### ■ 出張採録による登録

■ 医療機関への情報還元によるがん登録への理解を図る

■ 精密検査実施協力医療機関の遵守事項の徹底(地域がん登録への協力)



# がん対策推進計画の策定

国の「がん対策推進基本計画」を基本として、県におけるがん患者に対するがん医療の提供の状況等を踏まえた「鹿児島県がん対策推進計画」を策定する。

策定にあたっては、医療計画、健康増進計画等の計画との整合性に留意。

## <スケジュール(H19年度)>

- |        |                       |     |                           |
|--------|-----------------------|-----|---------------------------|
| 4～5月   | ・基礎資料調査               | 12月 | ・関係団体への計画素案説明、パブリックコメント開始 |
| 6月     | ・国計画内容の分析             | 1月  | ・県がん対策推進協議会での計画案検討        |
| 7月     | ・計画骨子素案作成             | 3月  | ・計画策定、公表                  |
| 9月     | ・県がん対策推進協議会での計画骨子素案検討 |     |                           |
| 10～11月 | ・計画素案作成               |     |                           |